

## 令和8年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 令和8年5月20日(水) 午後3時開会

2 開催場所 根形交流センター 2階視聴覚室

3 出席委員

委員長	篠原 和行	委員	田中 輝博
副委員長	片寄 礼子	委員	早川 敦
副委員長	石井 喜三江	委員	竹内 良雄
委員	庄司 光利	委員	高橋 亜由美
委員	粕谷 和俊		

(欠席委員)

委員	福原 孝彦	委員	鈴木 美恵子
委員	杉浦 智子		

4 出席職員

教育部長	高浦 正充	長浦公民館顧問	地引 等
市民会館館長	齊藤 秀夫	根形公民館館長	大野 正彦
昭和交流センター 副主幹	木村 卓郎	根形公民館顧問	鹿島 順
平川公民館館長	吉末 孝司	根形交流センター 副主幹	戸塚 愛佳
平川公民館顧問	本橋 俊哉	平岡公民館館長	加藤 宏明
長浦公民館館長	須田 紀子	平岡公民館顧問	庄司 三喜夫

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 報告

(1) 令和7年度市民会館・公民館事業の実施結果について

7 議題

(1) 令和8年度市民会館・公民館の事業計画について

(2) 令和8年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について

### (3) その他

その他（交流センターに係る各館の取組報告 他）

#### 篠原委員長

報告（1）令和7年度市民会館・公民館事業の実施結果について、事務局より説明をお願いいたします。

#### 事務局

（資料1ページから21ページに基づき、齊藤市民会館館長、吉末平川公民館館長、須田長浦公民館館長、大野根形公民館館長、加藤平岡公民館館長が説明）

#### 篠原委員長

ただいまの説明について、委員の皆様のご質問等があればお受けします。

内容については、2月に報告していますが、今回は、まとめも含まれています。質問や意見等がありましたら、お願いします。

特段無いようですので、私の方から幼児家庭教育学級について1つだけ伺います。幼児家庭教育学級は、参加されるお母さんに対し、こういうことを行うといいですよというような学習を行ったり、こどもを遊ばせたりしていると思いますが、お母さんが45分間、全くのフリーの時間を提供する、例えば、こどもたちは、社会教育推進員などをお願いして、お母さんは離れたところにおいて、息抜きをしてもらうという考えはいかがでしょう。

以前、小学生から高校生までの不登校のこどもたちと、その保護者の方々に、青少年自然の家に2泊したのですが、親は遠く離れたところで過ごしてもらいました。その時に、おしゃべりする人、散歩をする人、のんびりしている人、皆さん各々に過ごされていたのですが、見ていると、皆さんの表情がよくなってきたのです。

また別の事業ですが、体育館のような施設で、半分はこども、半分は親たちと分けて、事業を行ったことを見たことがあります。親たちは、最初はこどもたちの様子を心配そうに見ていただけでしたが、後半は自分たちの時間を楽しんでいただいていたと思います。そういう事業もあるということで、参考にしていたらと思います。

それでは、令和8年度市民会館・公民館の事業計画について。市民会館からお願いします。

#### 事務局

（資料22ページから34ページに基づき、齊藤市民会館館長、本橋平川公民館顧問、地引長浦公民館顧問、大野根形公民館館長、庄司平岡公民館顧問が説明）

### 篠原委員長

ありがとうございました。それでは、質疑応答となります。  
委員の皆様、よろしく申し上げます。

### 片寄副委員長

令和8年度の経営方針の前に、令和7年度の報告について伺います。

各館とも事業の反省と次年度に引き継ぐ事項をきちんと整理されています。

振り返るということは、とても大切なことです。ぜひ、次年度に生かして、魅力ある講座を展開していただければと思います。

令和8年度の経営方針について、先ほど、市民会館館長から説明をいただきました。その中で、施策の(1)一人ひとりの学びという項目の中の削除された内容についてです。教育ビジョンにもなかったもので、おそらくそのような理由で削除したのかなと思います。しかし、その文面・内容に関しては、公民館にとって、とても大事なことでと考えています。令和9年度の経営方針を作成するとき、この内容についても検討していただきたい。文言は同じでなくてもいいので、主旨を理解し、含めていただけたらと思います。

23ページの施策の方向性(3)について、社会教育推進員についての内容を文言として資料に入れてほしいと思います。社会教育推進員は、生涯学習ボランティアとして証明されており、その支援をしています。社会教育推進員は、公民館の大きな担い手であり、なくてはならない存在ですので、ぜひ、令和9年度の経営方針には含めていただきたいと思います。

### 齊藤市民会館館長

いただいた件については、令和9年度の経営方針の策定時に検討したいと思います。

### 篠原委員長

他の委員の皆様はいかがでしょう。

### 粕谷委員

これだけの予算で、たくさんの事業を実施されている。本当に驚いています。

その中で、二十歳を祝う会について教えてください。前年度57万9千円だった予算が、今年度は23万円に減額されているのですが、どういう理由でこうなったのでしょうか。経緯を伺いたいです。

### 齊藤市民会館館長

記念品の内容を検討した結果、減額となりました。

### 粕谷委員

参加者が少なくなったということではなく、記念品の額ということでしょうか。この予算で、本当によくやっていると思います。

その中で、私たち、公民館運営審議会の予算が多くを占めていることについて、本当に恐縮に思います。この審議会の予算が10万円くらい増額しているのはどういうことでしょうか。

### 木村昭和交流センター副主幹

前年度は、千葉県公民館研究大会の参加費がありませんでしたが、今年度は、大会の実施を検討しているとのことでしたので、委員1人について1,500円の負担金とそれに伴う旅費を反映したことに伴う増額です。

### 粕谷委員

定例の額が上がるわけではないのですね。

根形公民館は予算が多いですが、こちらはどうしてでしょうか。

### 大野根形公民館館長

特に多いとは思いませんが、ねがたファミリーコンサートの謝礼として6万円あること、また根形が芸術系の講座を持っていまして、花まる絵画教室、こども絵画教室、成人絵画教室の講師謝金がありますので、他の館と比較して、多いのだと思います。

### 粕谷委員

これだけの事業を行っているのに、予算が少ないのは大変だと思います。ぜひ、予算を獲得していただきたいと思います。

### 篠原委員長

予算については、会費等をいただいたり、文部科学省などの補助金をもらったりなど工夫をしていただき、市と相談していただきたいと思います。

他にありませんでしょうか。

### 田中委員

経営方針について。施策の方向性（1）には生涯学習の充実、（2）には社会教育の充実とありますが、自身の中では、生涯学習と社会教育は、内容としては、同じものと考えています。別々に記載されているということは、どう捉えたらいいか。違いを教えてくださいたいと思います。

### 木村昭和交流センター副主幹

生涯学習は、個人の学習という要素があり、社会教育は、集団、団体の教育であって、活動がつながっていくという違いがあります。後期基本計画にも、それぞれ反映していますので、それに則って公民館の経営方針につなげています。

### 田中委員

施策①について伺います。

主体的に学ぶことは、社会教育の根本であり、公民館は、まさにその入口を作る役割を果たしていると考えています。そこで、公民館の講座から派生した個々の団体が、今後どのように活動を展開していくのか、また、公民館としてはそれをどのように支援していくのかについて教えていただきたいと思えます。

### 木村昭和交流センター副主幹

長浦公民館で実施していたお箏教室についてですが、本事業は、もともと公民館の青少年教育推進事業の一環として実施していました。

講座としては終了しましたが、自主的な活動として継続しております。

公民館としても、彼らの自主的な活動を今後も継続して支援していきたいと考えています。

### 篠原委員長

よろしいですか。それでは次に、議題（3）その他です。

37ページから44ページまで事務局説明をお願いします。

### 木村昭和交流センター副主幹

37ページの令和8年度青少年育成袖ヶ浦市民会議理事の推薦及び41ページの令和8年度青少年健全育成推進大会実行委員の推薦についてですが、本日の審議会の前に報告期限を迎えてしまうため、委員長と相談して報告いたしました。

青少年育成袖ヶ浦市民会議理事の推薦については、現理事である片寄副委員長を推薦しております。青少年健全育成推進大会実行委員については、早川委員を推薦いたしました。

### 篠原委員長

今の説明について、質問等ありますでしょうか。無いようですので、議題（3）については、終了させていただきます。

以上もちまして、本日の議題は終了いたしました。皆様、ありがとうございました。

## 事務局

篠原委員長、ありがとうございました。

それでは、その他といたしまして、各交流センターの取組について説明いたします。

(齊藤昭和交流センター所長、吉末平川交流センター所長、須田長浦交流センター所長、大野根形交流センター所長、庄司平岡公民館顧問が説明。)

## 事務局

次に事務局より連絡事項があります。

## 木村昭和交流センター副主幹

5月29日に君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会定例総会が開催されます。

欠席される場合は、委任状の提出をお願いいたします。

## 事務局

次第は以上ですが、閉会の言葉の前に今期退任される委員の皆様から一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

(石井副委員長、粕谷委員、田中委員より挨拶)

## 事務局

ご挨拶いただき、ありがとうございました。また、公民館事業に多大なるご尽力を賜りまして、ありがとうございました。今後、別の立場でお力添えをいただければと思います。

それでは、閉会の言葉を石井副委員長お願いいたします。

## 石井副委員長

以上をもちまして、令和8年度第1回公民館運営審議会を終了いたします。

皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

午後5時00分 閉会

# 令和8年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

日時：令和8年5月20日（水）

15時から

場所：根形交流センター 2階視聴覚室

## 次 第

- 1 開会のことば
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育部長あいさつ
- 4 審議会委員・職員紹介
- 5 報 告
  - (1) 令和7年度市民会館・公民館事業の実施結果について
- 6 議 題
  - (1) 令和8年度市民会館・公民館の事業計画について
  - (2) 令和8年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について
  - (3) その他
- 7 その他（交流センターに係る各館の取組報告 他）
- 8 閉会のことば



## 第26期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.		氏名	選出区分	備考
1	委員長	篠原 和行	学識経験者	3期目
2	副委員長	片寄 礼子	学識経験者	5期目
3	副委員長	石井 喜三江	学識経験者	3期目
4	委員	庄司 光利	学校教育 小中学校長会代表	2期目
5	委員	粕谷 和俊	社会教育 文化協会代表	1期目
6	委員	田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡 協議会代表	5期目
7	委員	早川 敦	社会教育 音楽協会代表	5期目
8	委員	福原 孝彦	社会教育 スポーツ協会代表	2期目
9	委員	杉浦 智子	家庭教育	1期目
10	委員	鈴木 美恵子	学識経験者	2期目
11	委員	竹内 良雄	学識経験者	1期目
12	委員	高橋 亜由美	学識経験者	1期目

任期 令和6年7月1日から令和8年6月30日まで

報告(1)令和7年度市民会館・公民館事業の実施結果について

ア 市民会館

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加人数	決算額(千円)	予算額(千円)
1	目標2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時	104回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者20人	6月～12月	7回	保護者141人 幼児126人	10	10
3			小学校家庭教育学級	昭和地区の小学生の保護者(各回募集)	7月～11月	4回	53人	0	0
4			中学校家庭教育学級	昭和中学校生徒の保護者(各回募集)	7月～12月	4回	20人	40	40
5	目標2(2) ③地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室	昭和地区の小学校4年～6年生(各回募集)	5月～2月中止2回(荒天のため)	6回	300人	30	32
6		青少年相談員支部活動		昭和支部青少年相談員13人	通年		13人	-	-
7		地区住民会議(坂戸の森みどりの会)活動		昭和地区各種団体21団体等	通年		21団体等	-	-
8		世代間交流事業		昭和地区の小學生とその家族	12月14日	1回	136人	-	-
9	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー	昭和地区成人女性40人	6月～12月	7回	126人	25	25
10			大人のチャレンジ講座	市内在住・在勤の成人20人	2月～3月	2回	21人	19	19
11			単発講座	市内在住・在勤の成人20人	2月14日	1回	20人	5	5
12		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室(高齢者教室)	昭和地区の60歳以上の方120人	5月～12月	8回	401人	10	10
13		地域人材育成講座(親子ウォーキング)		昭和地区の小學生とその家族25組	11月16日	1回	68人	0	0

No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ参加人数	決算額(千円)	予算額(千円)
14	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	第38回市民会館まつり	市民	11月1日 11月2日	2日間	5,200人	223	223
15	目標2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業 ロビー展示	各種団体等	通年	7回	140点	-	-
16		第43回市民音楽フェスティバル(音楽協会との共催)	市民	11月23日	1回	770人	193	209
17		第38回芸能文化まつり(文化協会との共催)	市民	1月25日	1回	397人	28	34
18		子ども会育成会支部活動	単位子ども会4団体	通年		4団体	-	-
19		利用者懇談会	定期利用団体	3月16日	1回	30団体	-	-
20	目標2(3) ③学びを支える地域人材の育成と活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推進員10人	通年		10人	4	4
21	二十歳を祝う会		H17.4.2 ~ H18.4.1 に生まれた昭和地区の二十歳	1月11日	1回	120人	560	579
22	公民館運営審議会		委員12人	5月~2月	5回	49人	373	396
計							1,520	1,586

## 市民会館事業の総括

第三期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり」の実現に向け、この基本目標の一つである「人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します」を意識し、学習活動を展開しました。

事業の企画・実施にあたっては社会教育推進員等と連携し、参加者数が増えた講座・学級があるなど、一定の成果を上げることができました

一方、参加者数が少なかった講座・学級もあることから、参加者のアンケート結果や、社会教育推進員等とのふりかえりをした上で、次年度の企画・運営に活かしていきます。また、公民館に係る研修にも積極的に参加することで、研修で得た成果を担当業務へ還元するよう努めました。

### 1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

#### ① 市民への学習機会の提供と情報の発信

市民の様々な学習ニーズに応えるため、前年度の講座生の声やアンケート結果を踏まえ、生涯学習ボランティアである社会教育推進員に参画していただき、各種事業等を開催しました。

単発講座として実施した味噌づくり体験会は、前年度実施した大人のチャレンジ講座で人気を博したことから企画したもので、定員20人に対し60人を超える申込みがあるなど、講座内容を検証したことでその成果につながりました。高齢者教室（昭和ふれあい教室）では、地域のシニアクラブ代表と社会教育推進員で構成する運営委員会において、シニアの方々が求めることを事業の企画・運営に反映したことで、参加者数も増加し、好評を博しました。

市民会館・公民館における各種事業の企画・運営及び公民館運営の諸課題を審議するため、公民館運営審議会を年5回開催し、審議会でもいただいた意見をもとに事業の見直し等につなげることができました。

主催事業・講座等の募集及び開催状況・結果を広報そでがうらや市ホームページ、公式LINE等を活用することで、市民が学習等の機会を逃すことのないよう、情報の発信に積極的に取り組みました。

### 2 家庭と地域の教育力の向上

#### ① 家庭の教育力向上のための支援

子どもの発達段階に応じた保護者を対象に、子育てのヒントとなる学習機会の提供と同じ世代の子どもを持つ保護者同士のつながりを深めるため、家庭教育学級を実施しました。

乳幼児家庭教育学級は、平川公民館と共催の上、乳幼児とその保護者が心身ともに健康でいられる場及び仲間づくりの場を提供し、親子の絆を深めることを目的に開催しました。家庭外での子どもの活動や保護者同士の交流機会を設けたこともあり、参加者からは「初めての体験や普段できない体験を安心してさせることができた」「居住区外の保護者同士で交友関係を築くことができた」などの意見が寄せられるなど好評を博しました。また、保育ボランティアを活用しつつ、学習支援を行いました。

小学校家庭教育学級及び中学校家庭教育学級は、小中学校合同講演会を2回開催し、より多くの方が学習できる機会を提供しました。小学校家庭教育学級では、学校給食センターを見学しましたが大変好評であり、次年度も企画してほしいといった声をいただきました。中学校家庭教育学級では、昭和中学校のオープンスクールを活用し、スクールカウンセラーから子どもの学校での様子などを講演していただくとともに、参加者同士の交流も図るなど、発達段階に応じた学習機会を提供することができました。また、移動教室では、保護者同士が親睦を深めている様子が見られました。

## ② 地域の教育力の向上

子どもを取り巻く社会環境が変化していく中、心豊かな子どもを育成するため、地域の方々の協力のもと、青少年健全育成活動を実施しました。

子どもチャレンジ教室は、体験型教室を中心に開催し、学年や小学校区の枠を超えて交流ができました。地元出身アスリートの方の協力を得て開催した「地元出身アスリートと遊ぼう！（逃走中）」は、もりのこクラブと共催で昭和小学校にて実施しましたが、学校との連携など、今後の事業運営の参考となる機会にもつながりました。

青少年相談員支部活動は、昭和地区の小学校児童が交流をしながら、協調性や思いやりの気持ちを学び、非日常的な体験をすることで、チャレンジ精神やたくましい心を育てることを目指し、デイキャンプ及びなんでもチャンピオン大会を開催しました。また、市民会館まつりでは、かき氷や綿あめの模擬店を出店し、会場を盛り上げる一翼を担いました。

昭和地区住民会議坂戸の森みどりの会は、地域で子どもを守る取組として、子ども安全パトロールや夏季愛のパトロールを実施するとともに、市民会館と共催で親子ウォーキングを実施したほか、世代間交流事業としてクリスマスリースづくりとお正月お飾りづくりを実施しました。

## 3 つながり、支えあう社会教育の充実

### ① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

市民の学習ニーズや地域課題及び生活上の課題を的確に把握し、女性セミナー、大人のチャレンジ講座、昭和ふれあい教室（高齢者学級）、単発講座において、様々な体験型・講義型の講座を実施しました。

地域人材育成講座は、子育て世代の増加が著しい昭和地区において、親子がウォークラリー形式でウォーキングすることにより、昭和地区の歴史や名所に触れるよう企画・運営しました。講座の目的としては、受講者がこれまで気づけなかった地元の良いところ、地域の魅力を発見するとともに、親子の交流を深めることであり、その目的を達成することができました。

市民会館まつりでは、主に市民会館で活動するサークル団体等に加え、昭和地区の保育園や保育所、認定こども園、小・中学校・高等学校等から出展、発表をしていただくとともに、多くの方々に来場いただき、地域住民の交流機会を持つことができました。

### ② 社会教育関係団体の活動への支援

社会教育関係団体や公民館等で活動するサークル団体等が、自主的な活動を継続できるよう、アドバイスや団体活動の活性化に向けた会員募集支援等を行いました。また、文化・芸術活動の活性化につながるよう、希望する団体にロビー展示の機会を提供しました。

音楽協会との共催による市民音楽フェスティバルや、文化協会との共催による芸能文化まつりを開催し、関係団体の発表の場と交流の場を提供し、多くの方々が来場しました。

### ③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

社会教育の充実を目指し、地域の代表でもある社会教育推進員と連携し、講座運営だけでなく、地域とのつながりや人間関係づくりにも取り組みました。

イ 平川公民館

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加人数	決算額(千円)	予算額(千円)
1	目標2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時	92回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者20人	6月～12月	7回	保護者141人 幼児126人	5	5
3			小学校家庭教育学級	中川小学校児童の保護者(各回募集)	4月～1月	5回	99人	6	6
4			中学校家庭教育学級	平川中学校生徒の保護者(各回募集)	4月～1月	5回	保護者54人 生徒50人	10	11
5	目標2(2) ③地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	子どもクラブ	中富地区の小学生(各回募集)	7月～2月	5回	53人	16	16
6			書き初め教室	中川小学校3～6年生20人	12月20日	1回	16人	5	6
7		青少年相談員支部活動	中富支部青少年相談員10人	通年	10人	-	-		
8		地区住民会議(中富ふれあいの会)活動	中富地区各種団体15団体	通年	15団体	-	-		
9	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	初心者・シニア向けスマートフォン教室	市民各回20人	5月～2月	6回	117人	2	3
10			園芸講座	市内在住・在勤の成人25人	5月～2月	8回	129人	57	63
11			単発講座	市民	9月～2月	2回	748人	23	23
12		高齢者いきがい促進事業	平川生活いきいき講座(高齢者講座)	主に鹿島・中富地区の60歳以上の方30人	5月～2月	7回	79人	15	16
13			ご近所高齢者講座	中富地区の60歳以上の方20人	7月～12月	2回	21人	5	5
14		災害「避難」を学ぶ講座(地域人材育成講座)	市民(中富地区優先)20人	6月～2月	5回	121人	26	27	
15		各種行事推進事業	第37回平川公民館まつり	市民	11月15日 11月16日	2日間	2,000人	120	128

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
16	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示・ ロビーワーク	各種団体等	通年	11回	118点	18	18
17		利用者懇談会		登録サークル・定期利用団体	3月9日	1回	18人	-	-
18	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育 推進員 10人	通年		10人	3	4
20	二十歳を祝う会(平岡公民館と共催)			H17.4.2 ~ H18.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	1月11日	1回	73人	-	市民会館 で計上
							計	311	331

## 平川公民館事業の総括

第三期教育ビジョン及び令和7年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策に基づき、様々な公民館事業を実施しました。

また、各種講座や教室の内容について、市民ニーズに沿った見直しを適宜行いながら、多くの市民への学習機会を提供するとともに、各館における講座や教室の合同開催など、事業の効率化を併せて実施しました。

さらに、地域コミュニティの活性化に関し、社会教育に関する事業等と一体的に取り組むことにより、協働によるまちづくりを推進するという交流センターの設置目的や施設利活用の促進を図るため、親子交流イベント「親子でenjoy!ひらかわの休日」を開催しました。

### 1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

#### ① 市民への学習機会の提供と情報の発信

市民への学習機会の提供として、子どもから高齢者まで幅広いニーズに応えるため様々な講座を開催しました。

また、広報そでがうらやホームページ、フェイスブックにより、サークル活動や各講座の様子など生涯学習情報の提供や市民の学習活動の支援を行いました。

さらに、交流センターにおける各種事業について、より地域の方々に知っていただけるよう、公民館だよりを2回発行し情報発信に努めました。

### 2 家庭と地域の教育力の向上

#### ① 家庭の教育力向上のための支援

保護者を対象に子どもの発達段階に応じた学習機会を提供することで、子育て世代の悩みの解消や、子育て世代の交流を深める教室を開催しました。

乳幼児家庭教育学級では、親子を対象とした体験型講座や交流事業を市民会館と合同で実施しました。土日を中心に開催したことで、例年より父親の参加が増加するなど、より多くの家族間の交流を深めることができました。

小中学校家庭教育学級では、PTAや学校と連携し、保護者の関心の高いSNSや闇バイト問題、子どもの精神的成長の支え方などの講座を開催しました。

また、課題となっている参加者数の伸び悩みについては、地区住民会議と講座を合同で開催するなど参加者の増加に努めました。

さらに、より多くの方に家庭教育学級に参加していただくため、中川小学校と平川中学校の保護者を対象に希望する講座内容や開催日時等に関するアンケートを実施しました。

なお、乳幼児家庭教育学級については、公民館内での情報交換などを行いながら、市民ニーズに沿った学習機会の提供に努めていきます。

#### ② 地域の教育力の向上

子どもクラブでは、中富地区の全児童を対象に星空観察会やトウモロコシ収穫体験、バーベキュー等を実施し、特に野外活動については参加者から好評でした。

しかし、参加者の減少が課題となっており、案内の時期やチラシの内容の工夫が必要となっています。

中富地区住民会議「中富ふれあいの会」では、青少年の健やかな成長と安全を守るための取組みを行う事務局として、活動を支援しました。

また、夏季・冬季休業期間中におけるパトロールや、悪天候により中止となったデイキャンプの代替として新春チャンピオン大会での餅つき体験を実施しました。

青少年相談員中富支部活動では、平岡支部と合同の新春チャンピオン大会を開催したほか、モルック体験会やベースボール5体験会を実施し、多くの地域の子ども達が楽しむイベントを支援しました。

### **3 つながり、支えあう社会教育の充実**

#### **① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進**

成人教育推進事業では、初心者・シニア向けスマートフォン教室、園芸講座及び単発講座を実施し、内容の見直しや SNS を活用した周知により、多くの参加者を集めることができました。

特に単発講座として実施した親子交流イベント「親子で enjoy! ひらかわの休日」では、親子で気軽に楽しめるイベントとして、700人の来場者があり、キッチンカーの出店も併せ大変好評でした。

地域人材育成講座では、講座名を「災害『避難』を学ぶ講座」として、市総合防災訓練への参加や被災経験者の講演会を実施しました。

公民館まつりでは、高齢化により活動団体の人数も減少しており、芸能発表や作品展示などの参加が年々難しくなっていることから、今後、活動紹介だけでなく、来場者が気軽に参加できる体験会を充実させるなど、課題の解決に向けた取組みが必要です。

#### **② 社会教育関係団体への活動への支援**

交流センターの利用方法等の案内及び登録団体等と施設に関する意見交換を行うため、利用者懇談会を開催しました。

そのほか、ロビー展示を開催して、袖ヶ浦市文化協会加盟団体や登録サークルなどの社会教育関係団体の活動成果の発表機会を提供するとともに、市民に芸術に親しむ機会や活動機会の情報提供を行いました。

#### **③ 学び支える地域人材の育成と活動の促進**

公民館事業の企画や運営方法などについて、社会教育推進員と意見交換を行うことで、公民館と地域住民とのつながりを深めるとともに、地域課題への意識を高めました。

地域住民が主体的に地域課題に取り組むため、連携を図るとともに支援を行います。

ウ 長浦公民館

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加人数	決算額(千円)	予算額(千円)
1	目標2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時	63回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	子育てパパ応援講座	2歳から就学前の幼児と父親20組	7月～12月	4回	保護者48人、 幼児52人	13	27
3			小中学校家庭教育学級	長浦・蔵波地区の小中学生を持つ保護者(各回募集)	7月～1月	6回	112人	16	25
4	目標2(2) ③地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	わんぱく教室	長浦・蔵波地区の小学校4～6年生30人	5月～1月 中止1回(雨天のため)	7回	110人	24	30
5		青少年相談員支部活動		長浦支部 青少年相談員22人	通年		17人	-	-
6		長浦地区住民会議(ながうら青空の会)活動		長浦地区各種団体24団体	通年		24団体	-	-
7	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	まるごと体験セミナー	市内成人(長浦地区優先)15人	8月～1月	4回	40人	6	32
8			ながうら遊学塾	市内成人(長浦地区優先)50人	5月～1月	6回	196人	26	44
9			お正月飾りづくり講習会	市内成人25人	12月23日	1回	16人	11	12
10		高齢者いきがい促進事業	長浦さわやかスクール(高齢者教室)	長浦地区の60歳以上の方250人	5月～1月	6回	255人	26	43
11		地域人材育成講座		高校生から25歳までの方15人	6月～11月	5回	23人	0	4
12		各種行事推進事業	長浦公民館まつり	市民	11月15日 11月16日	2日間	5,100人	225	234
13	目標2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	ロビー展示		各種団体、サークル	通年	6回	129点	-	-
14		利用者懇談会		各種団体、サークル	3月17日	1回	47人	-	-

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
15	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推 進員10人	通年		10人	2	4
16	二十歳を祝う会(長浦地区)		H17.4.2 ~ H18.4.1 に 生まれた 長浦地区の 二十歳	1月11日	1回	69人	-	市民会館 で計上
	二十歳を祝う会(蔵波地区)		H17.4.2 ~ H18.4.1 に 生まれた 蔵波地区の 二十歳	1月11日	1回	117人	-	市民会館 で計上
						計	349	455

## 長浦公民館事業の総括

長浦公民館は、第3期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり」の実現に向け、令和7年度市民会館・公民館経営方針に基づき、社会教育推進員や社会教育関係団体をはじめとした団体等との連携により、各種事業を実施しました。

### 1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

#### ① 市民への学習機会の提供と情報の発信

地域の学習拠点として、住民の多様な学習ニーズに応えるため、高齢者や子どもなど世代に応じた各種講座を開催し、さまざまな学習の機会を提供しました。

また、主催講座の開催状況などをホームページで発信するほか、公民館だよりやXを活用した情報発信をしたり、館内に主催講座の活動紹介を掲示したりと情報の周知に努めました。

### 2 家庭と地域の教育力の向上

#### ① 家庭の教育力向上のための支援

子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習と保護者同士の交流を目的に、「子育てパパ応援講座」と「小中学校家庭教育学級」を開催しました。

子育てパパ応援講座では、父親と子どもと一緒に楽しんで取り組める活動を行いました。今年度は参加率の増加を目指して、参加するたびにシールを貼る出席カードを配付したところ、1回あたりの参加者を増やすことができました。

小中学校家庭教育学級は、地区内4校のPTAと公民館の共催で開催しました。各校PTAが1企画を担当する形で、PTAと公民館が役割を分担し、協力しながら講座を実施することができました。

#### ② 地域の教育力の向上

長浦地区の小学校4～6年生を対象に、様々な体験と学校・学年の枠を超えた子どもの交流の場を設け、豊かな人間性を培うことを目的として「わんぱく教室」を開催しました。

わんぱく教室は、ボードゲーム体験やおやつ作りなどのほか、長浦地区住民会議ながうら青空の会や長浦地区まちづくり協議会など地域の団体等の協力のもと、デイキャンプや親子ウォーキング、ペットボトルロケット作りを実施し、子どもたちにいつもと違う特別な体験の場を提供することができました。

青少年相談員長浦支部や長浦地区住民会議ながうら青空の会が実施する愛のパトロールやチャンピオン大会などの各種活動の支援をしました。

### 3 つながり、支えあう社会教育の充実

#### ① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

成人教育推進事業として「まるごと体験セミナー」「ながうら遊学塾」「お正月飾りづくり講習会」を、高齢者いきがい促進事業として「長浦さわやかスクール」を、地域人材育成講座として「地域デビュー講座」を、各種行事推進事業として「長浦公民館まつり」を開催しました。

まるごと体験セミナーは、地域の郷土料理について講義と実践の場を設け、講座生は意欲的に取り組み、充実した活動となりました。

ながうら遊学塾は、ポッチャやレクダンスなどによる健康づくりや地域の石造物について講師に解説

していただきながら歩く歴史ウォークで教養を深めるなど、講座生のニーズに応じた様々な学習を実施することができました。

長浦さわやかスクールでは、地域のシニアクラブの代表者と社会教育推進員による運営委員会を構成し、当事者である高齢者が講座の企画、運営に携わりました。大勢の方が楽しく参加している様子が伺えました。また、今年度は2人の方に皆勤賞をお渡しすることができました。

地域人材育成講座は、地域デビュー講座として、地域に愛着を持ち、地域とつながりを持ちたいと考えている若者への地域デビューのきっかけづくりを目的として開催しました。講座生からは、地域の方と交流ができ、地域の方の様々な活動を知ることができて良かったとの声がありました。また、長浦地区住民会議ながら青空の会の活動に興味を持ち会員となってくれた講座生もいました。

長浦公民館まつりは、展示や発表のほか会場の準備や片付など、多くの利用者の協力を得て盛況に開催することができました。展示・発表に限らず、多くの定期利用団体の参加、協力が年々増えてきています。

## ② 社会教育関係団体の活動への支援

交流センターの利用及びサークル活動のあり方について理解を図るとともに、情報交換（懇談会）をとおして定期利用団体の活動の充実を図ることを目的に、利用者懇談会を開催しました。

また、身近な発表の場として、年間を通してロビー展を開催し、各種団体やサークルの学習成果を発表しました。併せて市民が芸術作品に親しむ機会を提供しました。

## ③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

生涯学習ボランティアである社会教育推進員と職員が協力し、お互いの意見を反映しながら公民館事業の企画運営を行い、事業を実施し、個々の知識と経験を活かしあった事業展開を実現しました。また、研修会を開催し知見を広めることができました。

エ 根形公民館

No.	教育ビジョンの体系	事業名		対象	実施時期	回数等	延べ参加人数	決算額(千円)	予算額(千円)
1	目標2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時	80回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	幼児家庭教育学級	2歳から就学前の子を持つ保護者	9月27日 2月15日	2回	保護者41人 幼児39人	17	19
3			小中学校家庭教育学級	根形小児童・根形中学生の保護者(各回募集)	6月～12月	6回	58人	8	9
4	目標2(2) ③地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	花まる絵画教室	市内小学1年～3年生 16人	6月～12月	6回	79人	31	34
5			子ども絵画教室	市内小学4年～6年生 16人	5月～1月	9回	91人	59	59
6			ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	根形小児童、根形地区の青少年、登録サークル会員、青少年相談員等(各回募集)	7月24日、25日 8月9日、23日	4回	77人	12	23
7		青少年相談員支部活動	根形支部 青少年相談員	通年	8人	-	-		
8		地区住民会議(根っ子の会)活動	根形地区の各種団体等	通年	19団体 他	-	-		
9		成人教育推進事業	成人絵画教室	市内在住・在勤成人 15人	5月～2月	10回	102人	60	69
10		地域再発見講座	市内在住・在勤成人 20人	6月～1月	7回	129人	6	13	
11	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	高齢者いきがい促進事業	根形ニコニコ教室(高齢者教室)	根形地区の60歳以上の男女60人	5月～2月	10回	235人	39	47
12		地域人材育成講座	根形地区住民、根形小児童・根形中学校生徒	9月3日 12月2日 3月1日	3回	387人	11	26	
13		各種行事推進事業	根形公民館まつり	市民	11月1日 11月2日	2日間	2,400人	285	291
14			ねがたファミリーコンサート	根形ニコニコ教室生、根形地区の親子等	8月2日	1回	93人	70	70

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	実施時期	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)	
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体他	通年	8回	98点	6	6
16			根形公民館 サークル作品展	根形公民館で 活動する芸術・ 工芸関係サーク ル等	3月14日～3月22日	9日間	380点	5	9
17			書初め教室	根形公民館で 活動する書道 サークル等	12月25日	1回	12人	5	5
18		利用者懇談会	定期利用団体	3月17日	1回	20人	-	-	
19	目標2(3) ③学びを支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推進 員	通年		10人	4	4	
20	二十歳を祝う会		H17.4.2～ H18.4.1に 生まれた 根形地区の 二十歳	1月11日	1回	34人	-	市民会館 で計上	
計							618	684	

## 根形公民館事業の総括

令和7年度市民会館・公民館経営方針に基づき、人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援するため、地域の持つ課題や社会の変化に応じた課題を十分に把握し、地域住民、学校等の関係機関、社会教育関係団体をはじめとする各種団体、社会教育推進員との連携により事業活動を展開しました。

また、市民ニーズに対応した各種講座を開設し、生涯学習の場を創出するとともに、公民館まつりやねがたオープンキャンパス（ねこまろ）等の事業を通じて地域コミュニティの醸成を図り、社会教育活動を推進しました。

### 1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

#### (1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

こどもから高齢者までを対象とした各種講座を実施。社会教育推進員の意見を反映し、学習意欲や地域課題に応じた内容の充実に努めました。

また、広報紙やチラシ、ホームページ、SNS等の多角的な媒体で講座やイベントを周知しました。さらに、館報発行による情報発信を通して、公民館事業や学習成果の普及に努めました。

### 2 家庭と地域の教育力の向上

#### (1) 家庭の教育力向上のための支援

子育ての学習とともに、同世代の保護者同士の交流を深めることを目的として、発達段階に応じた「家庭教育学級」を開設し、家庭の教育力向上に努めました。

小中学校家庭教育学級では、根形小・中学校PTAとの連携を重視し、両校合同で学習や仲間づくりを行いました。また、幼児家庭教育学級では、2歳から就学前の子を持つ親を対象に、親子での触れ合いを通じたリフレッシュや、育児の悩みを共有できる場を提供しました。

#### (2) 地域の教育力の向上

根形公民館、地域の若者グループ(N.O.C)、および地区住民会議「根っ子の会」の共催により、青少年の交流と成長の場「ねがたオープンキャンパス（ねこまろ）」を開催しました。通常版では、学習支援やレクリエーションを実施。特別版では陶芸体験を行いました。運営には、青少年相談員、根形小PTA、高校生ボランティア、登録サークル及びレクリエーション協会なども携わり、こどもから大人までがふれあう、多世代交流と地域協働の場となりました。

また、地区住民会議や青少年相談員など地域でこどもを育てている団体が行う諸活動を支援しました。

### 3 つながり、支え合う社会教育の充実

#### (1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

地域の活動拠点として、地域の各種団体や公民館登録サークル、関係行政機関等と連携・協力を図るとともに、公民館運営審議会の意見を参考に、こどもから高齢者まで誰もが学ぶことのできる主催事業の企画・運営にあたりました。

公民館まつりは、登録サークルをはじめ、地域の各種団体の協力を得て、学習成果の発表や展示の機会、地域の交流の場となり、多くの方の来館により日頃の根形公民館活動の周知につながりました。

#### (2) 社会教育関係団体の活動への支援

公民館登録サークル等の社会教育関係団体に対し、広報誌などを通じて活動の周知を行い、団体の活性化と自主的な運営を支援しました。

また、ロビースペースでの展示や、1年間の集大成となる「サークル作品展」を開催し、日頃の学習成果を発表する機会を設けるとともに、市民の芸術文化に対する関心を高めるよう努めました。

#### (3) 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

主催講座や公民館まつり等の事業実施にあたり、社会教育推進員の協力を得ることで企画・運営の充実を図ることができました。特に、地域を熟知した社会教育推進員自らが講師を務める講座では、地域のニーズに即したテーマでの開催が実現しました。

また、地域人材育成講座では「学びを通じた地域防災」をテーマに、根形小・根形中学校の協力を得て防災学習会を実施しました。これにより、将来の地域を担うこどもたちの防災意識を高め、地域への関心を深めることにつながりました。また、根形地区の住民を対象に、非常用トイレの設置や避難時の居住空間づくり、パッキングなどの体験型訓練を行い、災害時の初動対応を学ぶ機会を提供しました。

オ 平岡公民館

No.	教育ビジョンの体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ人数	決算額(千円)	予算額(千円)	
1	目標2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページ等による情報の発信	市民等	随時	39回	—	—	—	
2	目標2(2) ①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育推進事業	お子さんと一緒に！健康な心と体づくり講座(幼児家庭教育学級)	2歳から就学前の幼児と保護者25組	6月～12月	5回	保護者107人 幼児94人	30	31
3			小学校家庭教育学級	平岡小学校児童の保護者20人(各回募集)	7月～2月	5回	27人	35	35
4	目標2(2) ③地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	ひらおか子ども教室	平岡小学校の児童20人(各回募集)	6月～3月	6回(第2回中止)	63人	17	18
5		青少年相談員支部活動		平岡支部青少年相談員10人	通年		10人	—	—
6		地区住民会議(名幸ヶ丘の会)活動		平岡地区各種団体14団体等	通年		14団体等	—	—
7		ひらおかハッピータイム(世代間交流事業)		平岡地区の子どもから大人まで25人	12月20日	1回	12人	10	10
8	目標2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	国際理解セミナー	市内成人30人	9月～1月	5回	58人	44	44
9			わくわく女性倶楽部	市内成人女性40人	5月～2月	6回	173人	28	29
10		高齢者いきがい促進事業	ひらおかシニアセミナー(高齢者教室)	60歳以上の方40人	5月～2月	6回	138人	18	18
11		地域人材育成講座	みんなでつくる地域の避難所講座	平岡地区の住民30人(各回募集)	7月～2月	3回	86人	25	25
12	目標2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	平岡公民館文化・スポーツまつり	市民	11月1日～11月3日 11月3日(グラウンドゴルフ大会)	3日間	1,748人	186	190
13			ロビー展示	各種団体 平岡小学校 平川中学校	通年	7回	215点	—	—
14		利用者懇談会	定期利用団体等	3月17日	1回	17人	—	—	

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
15	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育 推進員10人	通年	4回	10人	4	4
16	二十歳を祝う会(平川公民館と共催)		H17.4.2 ~ H18.4.1 に 生まれた平 川地区の二 十歳	1月11日	1回	73人	-	市民会館 で計上
計							397	404

## 平岡公民館事業の総括

はじめに、令和7年度の講座等の実施状況については、7月30日に発生したカムチャツカ半島地震による津波警報発令に伴う避難所対応のため、翌日に予定をしていた第2回子ども教室はやむなく中止としましたが、その他の講座及び事業等については、計画どおりに実施することができました。

各講座の実施にあたっては、開催時期を考慮したり、講座生の関心の高いテーマを取り上げたりするなど、多くの方に参加してもらえるよう工夫をしましたが、それでも参加者が少ない講座や事業もあり、参加者募集の周知方法や開催日時等を検討する必要があります。

地域人材育成講座は、令和3年度から5年間、「みんなで作る地域の避難所講座」をテーマに取り組んできました。最終年度となった令和7年度は、これまで学習してきた内容等をふまえ、1年がかりで作成した「避難所開設指示書」に基づく避難所の開設や、避難所運営のシミュレーションを行い、より実践的な事柄を学ぶことができ、5年間の集大成としてふさわしい講座となりました。「防災」については地域住民の関心も高く、また、在宅避難や避難所運営等についても理解を深めていくことが必要であることから、来年度も「防災」をテーマとした自助や共助に関する講座を実施していきたいと考えています。

第18回平岡公民館文化・スポーツまつりでは、「体験」を重視した多くのイベントを開催しました。千葉県立袖ヶ浦高等学校新体操部をはじめ、地元企業等の参加も増え、地域住民に対し、様々な分野の体験活動や交流の場を提供することができました。

平岡小学校の子どもたちが利用している「HGK（ひらおか元気キッズ）」プロジェクトは、利用する子ども達も増えつつあり、放課後や休日の「こどもの居場所」として定着してきました。プロジェクト発足1周年記念イベントをはじめ、季節行事と併せたイベント等も開催し、子ども達の笑顔が溢れていました。

### 1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

#### ①市民への学習機会の提供と情報の発信

令和7年度は、講座等のアンケート調査により参加者のニーズを把握するとともに、社会教育推進員と内容を検討しながら講座を開催しました。また、子ども教室では、HGKに来た子ども達に、「子ども教室でやってみたいこと」について直接アンケートを取り、内容を決定しました。

シニアセミナーでは、先に「スマホカメラの上手な写真の撮り方」を学び、次回の移動教室で実践、文化・スポーツまつり写真展を開くなど、講座間の連携も意識しました。

参加者の募集については、SNSも利用し、複数のツールで複数回周知することにより、参加者を増やすことができました。また、どのような内容を行っている講座なのかを確認できるよう、チラシ等にホームページのQRコードを掲載したことも参加者の増に繋がっていると考えます。

さらに、実施した講座の様子をホームページ、掲示物、館報及び文化・スポーツまつりで紹介することで、講座の周知と学習の成果を多くの方に広めることができました。

### 2 家庭と地域の教育力の向上

#### ①家庭の教育力向上のための支援

子どもの健やかな成長と豊かな人間形成のための学習活動や、保護者同士の交流を目的に、幼児家庭教育学級及び小学校家庭教育学級を開催しました。

幼児家庭教育学級では、普段家庭でできないようなダイナミックな遊びや想像力を育む遊び等をテーマとした活動を行い、親子遊びや五感を通して子どもの健やかな心と体の成長に繋げる活動や、講座生同士の交流を行いました。

小学校家庭教育学級では、少年期の成長に必要な知識を身に付け子育てに役立てること及び保護者の仲間づくり等を行うことを目的に開催しました。第4回講座は、昨年度好評をいただいた「千葉の太巻き寿司」を親子で作りました。今回も食育と太巻き寿司の作り方を組み合わせた学習を行いました。

伝統文化である太巻き寿司を親子でふれあいながら作ることができ、とても有意義な時間となりました。

今後も、保護者のニーズを分析しながら、多くの参加者が得られるよう、講座の企画や募集方法等について工夫をしていきたいと考えます。

## ②地域の教育力の向上

平岡地区の児童を対象に、様々な分野における体験活動を行う「ひらおか子ども教室」を継続して開催しました。第4回教室は、三井化学株式会社による科学工作の教室を開催し、資源循環型リサイクルについて学習した後、プラスチック工作を行いました。企業の特性を生かした化学的な内容で、子ども達にとっても普段関わることのないテーマでの学習をすることができました。

世代間交流事業では、地元、ひらおかの里 農村公園管理組合の方々を講師に招き、お正月飾りづくりを行いました。伝統文化の継承及び世代間交流につながる素晴らしい事業となりました。しかし、参加者が若干少なかったため、開催時期や周知方法等を検討していく必要があります。

地区住民会議及び青少年相談員支部の活動に対しては、文化・スポーツまつりや諸会議において各団体活動の支援を行いました。

また、平岡小学校や平川中学校と連携し、学校行事等の写真をロビーに展示して、地域住民等に学校の教育活動の様子を紹介しました。

## 3 つながり、支えあう社会教育の充実

### ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

地域人材育成講座は、5年間の学習成果を活かし、より実践的な内容とすることで、災害を自分ごととして捉えることができる講座となりました。毎年段階を踏んだ講座内容を考えて取り組んできましたが、5年間の学習を通して「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識醸成ができてきたのではないかと考えます。自治会や消防団の方々の積極的な参加があり、主体的に取り組んでいました。

今後も地域住民が中心となり、共助、そして特に自助についての防災力をアップして行くことができるよう取り組んでいきたいと考えます。

平岡公民館文化・スポーツまつりにおいては、今回も新たな催しものをプラスして、様々な体験活動等を通し、地域住民同士がつながり、新たな交流が生まれる等実りのあるまつりとなりました。

### ②社会教育関係団体の活動への支援

登録サークルの活動支援として、広報紙や掲示板を通して会員募集の周知を行うとともに、ロビー展示を開催して、活動発表の機会を提供しました。特に会員が少ないサークルに対しては、広報紙の中で大きく取り上げ、会員の確保について支援をしました。

地区住民会議に対しては、研修会の開催、子どもの見守り活動、ディキャンプ等の活動支援を行いました。

さらに、青少年相談員事業については、文化・スポーツまつりや新春チャンピオン大会等の活動支援、平川地区の二十歳を祝う会における記念写真スポットの提供等、各行事への活動支援を実施しました。

### ③学びを支える地域人材の育成と活動の促進

主催講座や文化・スポーツまつりなど、公民館事業の実施にあたっては、社会教育推進員の協力を得ながら、企画・運営を行い、内容を充実させて実施することができました。また、社会教育推進員自身が講師となって活躍をしていただく機会も多くなりました。

小学校家庭教育学級については、平岡小学校PTAと連携して講座を実施しましたが、今後も両方で協力

をしながら、参加者を増やすとともに、保護者のニーズに合わせたより良い学級の開催に向け取り組んでいきたいと考えます。

最後に、地域住民が主体となって活躍できるよう、イベント等の活動の場の創出についても検討をしていきたいと考えています。

## 議題（１）令和８年度市民会館・公民館事業計画について

### ア 令和８年度市民会館・公民館経営方針について

## 令和８年度市民会館・公民館経営方針

### 1 経営方針

市民会館・公民館については、令和８年度を初年度とする第三期教育ビジョン後期基本計画に基づき、以下３つの施策の方向性の実現に向けた取組を推進し、「未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり」という基本目標の実現を目指します。

また、前期基本計画の課題であった市民の関心や地域の課題に応じた講座の開催と併せ、今後は、講座を活用した人材育成や、社会教育団体等との連携も強化し、市民による社会教育活動の広がりと活性化を図ることで、すべての人のウェルビーイングの向上に向けた取組を推進します。また、地域コミュニティの基盤強化に向けて、地域住民における学びの場の機能強化等を通じ、社会教育を推進します。

#### **施策の方向性（１）一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実**

こどもや若者、社会人、高齢者など、年齢を問わずすべての人の学習意欲に応えられるよう、多様な学習機会の提供を図ります。

##### **施策① 市民への学習機会の提供と情報の発信**

市民の多種多様な学習ニーズや変化する社会ニーズに応えるため、各公民館で開催されている講座内容を充実し、様々な学習機会を提供します。

これらの生涯学習情報について、広報そでがうらやホームページ、SNS等で市民に発信します。

#### **施策の方向性（２）地域の教育力の向上**

心豊かなこどもの育成に向けて、地域の協力による相談の場づくりや情報提供を充実させるとともに、子育てや家庭教育等に関する学習の機会を提供します。

また、地域全体で心豊かな青少年健全育成に取り組みます。

##### **施策① 家庭教育への支援**

こどもへの接し方や成長についての理解や、同世代のこどもを持つ保護者同士のつながりを深める家庭教育に関する学習の場を提供します。

## 施策② 青少年健全育成活動の充実

各地域において、青少年相談員等による青少年健全育成関係団体が様々な活動を展開して、青少年健全育成の先導を担っています。

これらの事業をさらに充実させるため、地域の特性やニーズに対応した体験活動等の場の提供や、各団体の情報共有や連携強化など、地域全体が愛情と熱意を持って青少年を育成する環境を整備します。

## 施策の方向性（3）つながり、支えあう社会教育の充実

人と人とのつながりが希薄となる中、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくりが一層重要であると言われていています。

そのため、地域コミュニティの基盤強化に向けて、地域住民の学びの場である公民館をはじめとした社会教育施設において、自分が暮らす地域の課題や生活上の課題を学習テーマとした講座の開催など、受講者の学習意欲の向上や充実感を促進する社会教育活動の推進を図ります。

### 施策① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

各地域の課題や生活上の課題を学習テーマとした講座を開催し、学びを通じた地域づくりを行います。

また、受講者が主体となった活動が展開できるよう支援します。

### 施策② 社会教育関係団体の活動への支援

社会教育関係団体等が、自主的な活動を継続できるよう、団体活動の活性化に向けた支援と助言を行います。

### 施策③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

市民の主体的な学習活動を支援するため、地域の人材をボランティアとして育成し、社会教育機関等で実施する事業での活用を図ります。

イ 令和8年度市民会館・公民館主催事業

令和8年度市民会館・公民館主催事業

基本目標	未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり
生涯学習の目標	人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します

施策の方向性	施策	事業	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館	
(1)一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実	①市民への学習機会の提供と情報の発信		ホームページやSNS等による情報発信					
(2)地域の教育力の向上	①家庭教育への支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級 (平川公民館と合同)  小中学校家庭教育学級	乳幼児家庭教育学級 (市民会館と合同)  小学校家庭教育学級  中学校家庭教育学級	子育てパパ応援講座  小中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級  小中学校家庭教育学級	お子さんと一緒に！ 健康な心と体づくり講座  小学校家庭教育学級	
	②青少年健全育成活動の充実	青少年教育推進事業	こどもチャレンジ教室  世代間交流	こどもクラブ  書き初め教室	わんぱく教室	花まる絵画教室  こども絵画教室  ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	ひらおかこども教室  ジュニアチャレンジ講座	
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー  大人のチャレンジ講座  単発講座	園芸講座  トライアル講座  初心者・シニア向けスマートフォン教室  災害対策基礎講座	まるごと体験セミナー  ながうら遊学塾  お正月飾りづくり講習会	成人絵画教室  地域再発見講座  災害に備える講座	わくわく女性倶楽部  国際理解セミナー  ひらおかハッピータイム  みんなでつくる地域の避難所講座	
		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	平川生活いきいき講座  ご近所高齢者講座	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー	
	②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	市民会館まつり  市民音楽フェスティバル  芸能文化まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり  ねがたファミリーコンサート  サークル作品展	文化・スポーツまつり
			ロビー展示					利用者懇談会

ウ 市民会館・公民館事業計画

(ア) 令和8年度市民会館事業計画

◎各種団体など多様な主体との連携により、昭和地区の学習拠点、活動拠点として住民に親しまれる施設を目指します。また、定期利用団体の活動を持続可能なものとするための助言、支援を行います。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度時期・回数	対象・人数	予算額	
1	方針2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページやSNS等による情報発信	生涯学習情報及び公民館事業について、ホームページ等を活用した情報の発信を行います。	随時	—	—	
2	方針2(2) ①家庭教育への支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)	6月～12月(全7回)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者20人	44	
3		小中学校家庭教育学級	小学校期及び中学校期における子どもの成長の場としての家庭や地域の役割を理解し、子育てや家庭教育について知識や手法を学びます。	7月～12月(全4回)	昭和地区の小学生の保護者及び昭和中学校の保護者(各回募集)	54	
4	方針2(2) ③青少年健全育成活動の充実	青少年教育推進事業	こどもチャレンジ教室	5月～2月(全8回)	昭和地区の小学校4年～6年生(各回募集)	30	
5		青少年相談員支部活動	青少年の健全な育成を推進するため、青少年相談員の支部活動を支援します。	通年	昭和支部青少年相談員14人	—	
6		地区住民会議(坂戸の森みどりの会)活動	各種団体との協働により、青少年の健全育成を地域をあげて推進するための活動を支援します。	通年	昭和地区各種団体22団体等	—	
7		世代間交流事業		受講者が暮らす地域や生活を見つめ直すきっかけとなるよう、親子ウォーキングを実施します。	11月1回(全1回)	昭和地区の小・中学生とその家族	—
8				地域住民の世代を超えた交流を図るため、自然素材を使ったクリスマスリースづくりとお正月お飾りづくりを実施します。	12月1回(全1回)	昭和地区の小・中学生とその家族	—
9	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー	6月～12月(全7回)	昭和地区成人女性40人	27	
10		大人のチャレンジ講座	性別を問わず、様々な興味・関心のある事柄に対し、チャレンジをしていく中での取組を通じて、豊かに生活を送るための知識や仲間を得ることを目指します。	1月～3月(全3回)	市内在住・在勤の成人20人	16	
11		単発講座	地域の仲間づくり、住民自治意識の向上のきっかけの場を提供するとともに、身近な課題解決のテーマを取り上げて実施します。	12月1回(全1回)	昭和地区の成人50人	11	
12		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室(高齢者教室)	高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、学習や交流活動を通じて、生きがいづくりと仲間づくりを行います。	5月～12月(全8回)	昭和地区の60歳以上の方120人	27
13	各種行事推進事業	市民会館まつり(文化協会後援)	地域住民が郷土の文化芸術に親しむ機会とするとともに、定期利用者などの学習成果の発表の場とし、地域の交流を図ります。	10月31日 11月1日(2日間)	市民	235	

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
14	方針2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	グループ・サークル等が日頃の学習成果を発表し、市民が芸術作品に親しむ場とします。	通年	各種団体 サークル等	—
16			市民音楽フェスティバル(音楽協会と共催)	市内のアマチュア音楽グループ・サークルの交流を深めるとともに、市民が多様な音楽を親しめる場を提供します。	11月22日	市民	210
17			芸能文化まつり(文化協会と共催)	芸能文化活動の普及並びに、芸能文化の交流を通して市民の親睦を深め、豊かな情操を培います。	1月24日	市民	36
18		子ども会育成会支部活動	子ども会の自主性を尊重しながら支部活動を援助します。	通年	単子子ども 会4団体	—	
19		利用者懇談会	定期利用団体を中心に、市民会館の事業運営について理解を求めるとともに、サークル活動の意義について考える機会とします。	3月 (1回)	定期利用団 体	—	
20	方針2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともに行います。	通年	社会教育推 進員 10人	4	
21	二十歳を祝う会		二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月10日	H18.4.2～ H19.4.1に 生まれた 昭和地区の 二十歳	230	
22	公民館運営審議会		社会教育法第29条に基づき、公民館における各種の事業の企画、実施についての調査審議を行います。	5月～2月 (全5回)	委員12人	490	
					計	1,414	

(イ) 令和8年度平川公民館事業計画

◎平川地区・袖ヶ浦市の環境と人材を活かした事業を展開し、地域の人々の学びと交流の支援を行い、ふれあいとコミュニケーションの場、生涯学習の拠点となることを目指します。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度時期・回数	対象・人数	予算額
1	方針2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページやSNS等による情報発信	生涯学習情報及び公民館事業について、ホームページ、フェイスブック等を活用した情報の発信を行います。	随時	—	—
2	方針2(2) ①家庭教育への支援	乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)	幼児期における家庭の役割や家庭教育について学習し、地域ぐるみの子育てを進めます。	6月～12月(全7回)	0歳から就学前の幼児を持つ保護者20人	10
3		小学校家庭教育学級	健全な子どもを育てるための家庭や地域の役割を学習し、地域ぐるみの子育てを進めます。	4月～1月(全5回)	中川小学校児童の保護者(各回募集)	17
4		中学校家庭教育学級	中学校期の成長の場として、家庭・学校さらに地域があり、その役割を認識し、健全な中学生の育成に努めます。	4月～1月(全5回)	平川中学校生徒の保護者(各回募集)	17
5	方針2(2) ③青少年健全育成活動の充実	青少年教育推進事業 子どもクラブ	体験を通して、自然と親しむ心を高めるとともに、様々な学習を行いながら、交流を図ります。	7月～2月(全5回)	中富地区の小学生(各回募集)	17
6		書き初め教室	登録サークル等を講師として、学習成果の還元と地域の世代間交流を図る。	12月(全1回)	中川小学校3～6年生20人	6
7		青少年相談員支部活動	青少年の健全な育成を推進するため、青少年相談員の地区活動を支援します。	通年	中富地区青少年相談員10人	—
8		地区住民会議(中富ふれあいの会)活動	青少年育成袖ヶ浦市民会議の下部組織として地区住民会議を組織し、青少年育成事業活動を支援します。	通年	中富地区各種団体15団体	—
9	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業 初心者・シニア向けスマートフォン教室	スマートフォンを用いた初歩的なインターネットの利用方法や情報収集方法についての学習の場を提供します。	6月～11月(全3回)	市民各25人	33
10		園芸講座	今年度から野菜・花でコースを分け、より興味のあるものに参加できるようになりました。仲間と共に楽しく知識を深めます。	5月～2月(全7回)	市内在住・在勤の成人45人	66
11		トライアル講座	タイムリーな内容、市民の興味、関心のある内容等をテーマとして講座を実施し、交流センター利用や仲間づくり等のきっかけの場とします。	未定(全1回)	市民	11
12		災害対策基礎講座	いつ訪れるかわからない災害に備えるための知識を学び合います。	未定(全3回)	市民20人	23
13		高齢者いきがい促進事業 平川生活いきいき講座(高齢者講座)	いつまでも元気で、健康な心と体をつくるために、講座生同士で交流をしながら体を動かしたり、食について学んだり様々な学習をします。	6月～2月(全7回)	市内在住の方30人	29
14		ご近所高齢者講座	中富地区社会福祉協議会のいきいきサロンと共催して、中富地区の自治会館で出張講座を行います。	未定(全2回)	中富地区の60歳以上の方延べ20人	10

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額
15	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	平川公民館まつり	団体活動や主催事業の学習成果を発表する機会とするとともに、まちづくり協議会等団体と協働し、地域の活性化と住民の交流を図ります。	11月14日 11月15日 (2日間)	市民	153
16	方針2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事 推進事業  ロビー展示・ ロビーワーク	各種団体・サークルの学習成果を発表する場とし、併せて市民が芸術作品に親しむ機会をします。 また、季節ごとにロビーイベントやディスプレイを行い、地域住民の交流を図り、交流センターと地域の活性化を図ります。	通年	各種団体等	—
17		利用者懇談会	登録サークル・定期利用団体を対象に公民館の管理・運営について協力を促すとともに、活動の活性化を図りサークルの育成に努めます。	3月 1回	登録サークル・定期利用団体	—
18	方針2(3) ③学びを支える地域人材の育成と活動促進	社会教育推進員活動	公民館活動のリーダーとして企画運営の協力を得て、地域の活性化に努めて新しい公民館づくりを目指します。	通年	社会教育推進員10人	4
19		二十歳を祝う会(平岡公民館と共催)	二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月10日	H18.4.2～ H19.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	市民会館 で計上
					計	396

(ウ) 令和8年度長浦公民館事業計画

“温もりと喜びが集う公民館”人と人が交流する中で温もりを感じるとともに、学ぶ喜びや創造する喜びを共有し、ネットワークの核となる公民館をめざします。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
1	方針2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページやSNS等による 情報発信	生涯学習情報及び公民館事業について、ホームページ等を活用した情報の発信を行います。	随時	—	—	
2	方針2(2) ①家庭教育 への支援	家庭教育 総合推進 事業	子育てパパ応援 講座	父親同士の交流や親子での体験等を通じて子育てについて学びます。	6月～10月 (全5回)	2歳から就 学前までの 幼児を持つ 父親15組	27
3		小中学校家庭教育 学級	PTA(研修委員)と共催で家庭の教育 力向上のため、子育てに関する学習を 実施します。	7月～1月 4回 小中5館合同 2回 (計6回)	長浦地区の 小学生を持つ 保護者	25	
4	方針2(2) ③青少年健 全育成活動 の充実	青少年 教育推進 事業	わんぱく教室	小学生を対象として、異なる学校・学年の子ども達の交流や遊び、移動教室、科学実験などの様々な体験活動を提供します。	5月～2月 (全8回)	長浦小・蔵 波小の3年 生～6年生 30人	30
5		青少年相談員支部活動	青少年の健全育成を推進するため、青少年相談員の支部活動に協力します。	通年	長浦支部青 少年相談員 22人	—	
6		長浦地区住民会議(ながうら 青空の会)活動	各種団体との協働により、青少年の健全育成を地域をあげて推進します。	通年	長浦地区 各種団体 24団体	—	
7	方針2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	まるごと体験 セミナー	仲間づくり、趣味づくりを通じて、日常生活に潤いを提供します。	4月～11月 7回	成人(長浦 地区優先) 15人	32
8			ながうら遊学塾	日常生活に即して、健康づくり・趣味・教養・実学など様々な分野の学習を行います。	5月～1月 (全6回)	成人(長浦 地区優先) 50人	44
9			お正月飾りづくり 講習会	お飾りを飾って新年を迎える日本の伝統行事を大切にするため、お正月飾りの作り方を学びます。	12月 (全1回)	成人25人	12
10	高齢者 いきがい 促進事業	長浦さわやか スクール (高齢者教室)	心身のリフレッシュと受講者相互の交流を図ることにより、心豊かで生きがいのある高齢期を過ごす。	5月～1月 (全8回)	長浦地区の 60歳以上の 方250人	43	
11	各種行事 推進事業	長浦公民館まつり	公民館定期利用者の学習成果を地域に還元するため、定期利用者の発表の場を設けます。また、まつりを通じて地域住民の楽しい交流を図ります。	11月14日 11月15日 (2日間)	市民	237	

No.	教育ビジョンの体系	事業名		目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額
12	方針2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種文化活動団体・サークル等の活動成果の発表の場とするとともに、芸術文化に対する理解と認識を深めます。	通年	各種団体、 サークル	—
13		利用者懇談会		定期的に利用する団体及びサークルを中心に、交流センター(公民館)の経営方針、事業運営に理解を促すとともに団体活動の活性化を図ります。	3月 1回	各種団体、 サークル	—
14	方針2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		公民館事業の企画運営を職員と共に行い、民間リーダーの英知を結集し、市民の代表としての公民館づくりを目指します。	通年	社会教育 推進員10人	4
15	二十歳を祝う会			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月10日	H18.4.2～ H19.4.1に 生まれた 長浦・蔵波 地区の二十 歳の方	市民会館 で計上
						計	454

(エ) 令和8年度根形公民館事業計画

◎ホームページなどの情報発信の工夫に努め、根形地区の学習拠点として多くの住民に利用される施設を目指します。また、各種団体など多様な主体との連携・協働により、青少年健全育成や芸術文化の振興活動を支援します。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
1	方針2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページやSNS等による 情報発信	生涯学習情報及び公民館事業 について、ホームページ等を活用し た情報の発信を行います。	随時	—	—	
2	方針2(2) ①家庭教育 への支援	家庭教育 総合推進 事業	幼児の子を持つ親が、心身ともに 健康でいられるよう親子同士の触れ 合いを通して、子育ての悩みなどを 相談し合える場を提供します。	9月～10月 (全2回)	2歳から就学前 の子を持つ保 護者	25	
3		小中学校家庭教育 学級	小中学校期における家庭、地域 の役割や家庭教育のあり方・手法を 学習することを目的として実施しま す。	6月～12月 (全5回)	根形小児童・根 形中生徒の保 護者(各回募 集)	29	
4	方針2(2) ③青少年健 全育成活動 の充実	青少年 教育推進 事業	花まる絵画教室	創造性や情緒豊かな人間性を養 うことを目指して、水彩画に親しむ ための基礎学習と学校外での友達 づくりを行います。	6月～12月 (全6回)	市内小学 1～3年生 16人	39
5			こども絵画教室	水彩画を中心とした学習をととし て、豊かな感性を培うとともに、学校 外での友達づくりを行います。	5月～1月 (全9回)	市内小学 4～6年生 16人	55
6			ねがたオープン キャンパス (ねこまる)	根形小の児童を対象に、地域の 若者(N.O.C)と企画・運営し、勉強 や体験活動をとおして、子どもか ら、N.O.C、サークルや地区住民会 議等の地域の大人も交えた“多世 代交流の場”を目指します。	7～8月	根形小児童 、根形地区の 青少年、 登録サークル 会員、青少年 相談員等 (各回募集)	23
7		青少年相談員支部活動	青少年の健全育成を推進するた め、青少年相談員根形支部の活動 を支援します。	通年	根形支部 青少年相談員 8人	—	
8		地区住民会議(根っ子の会) 活動	根形地区の青少年健全育成を目 的として、地域全体として参加でき る事業活動を支援します。	通年	根形地区の 各種団体等 19団体 他	—	
9		方針2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶこと ができる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	成人絵画教室	大人の初心者を対象に、油絵、水 彩画等の基本的な知識・技術の習 得を図ります。	5月～2月 (全10回)	市内在住・在勤 成人15人
10	地域再発見講座			地域に残された資料や野外活動 をとおして、地域の成り立ちや時代 背景などを学習し、地域の再発見 に努めます。	7月～1月 (全7回)	市内在住・在勤 成人20人	30

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
11	方針2(3) ①誰もが主体的に 学ぶことができる 社会教育活動の 推進	高齢者 いきがい 促進事業	根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	地域の高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、学習や体験・交流活動を通して、一人ひとりの生きがいを促進するとともに、仲間づくりを行います。	5月～2月 (全10回)	根形地区の60歳以上の男女60人	55
12		地域人材育成講座	地域の課題について学ぶ機会を提供するとともに、課題解決に向けた人材発掘・育成に努めます。 ①防災講演会(根形小学校) 避難訓練とタイアップし、若い世代への地域防災教育を行います。 ②避難所に係る講演及び避難所体験(根形中学校) 地域で防災に取り組む人材育成を目指します。 ③総合防災訓練		①根形地区住民、PTA、根形小児童 ②根形地区住民、PTA、根形中生徒 ③根形地区住民	65	
13	方針2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事 推進事業	根形公民館まつり	郷土の文化に親しみながら教養を高め、創造力を培う場とするとともに、講座生、利用者等の学習成果発表の場とします。また、各種催しを通して、幼児から高齢者が集う世代間交流の場とします。	10月31日 11月1日 (2日間)	市民	321
14			ねがたファミリーコンサート	子どもから高齢者まで幅広い世代にプロの奏でる演奏を間近に触れ、音楽に親しむとともに豊かな心を育む機会とします。	8月1日	根形ニコニコ教室生、根形地区の親子等	60
15		ロビー展示	各種団体の日頃の学習成果を発表する場を提供するとともに、主催講座の成果を発表する機会とします。	通年	各種団体他	—	
16		根形公民館 サークル作品展	根形公民館で活動する芸術関係のサークル等の創作活動の成果を発表する場とするとともに、参加者相互の交流を促します。	3月14日～ 3月23日 (9日間)	根形公民館で活動する美術・工芸関係サークル等	15	
17		書初め教室	学校の冬休み期間中に、根形公民館の書道サークルを講師とした児童生徒への書初め教室を通じて、学習成果の還元と地域の世代間交流を図ります。	12月下旬	根形公民館登録サークル	5	
18	利用者懇談会	定期利用団体を対象に、公民館の事業運営とサークル活動について理解を促し、活動の活性化とサークルの育成に努めます。	3月 1回	定期利用団体	—		
19	方針2(3) ③学びを支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともにを行います。	通年 (会議4回 研修会1回)	社会教育推進員10人	4	
20	二十歳を祝う会		二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月10日	H18.4.2～ H19.4.1に 生まれた 根形地区の 二十歳	市民会館 で計上	
計						795	

(オ) 令和8年度平岡公民館事業計画

◎地域住民の学習ニーズや地域の実情に応じ、様々な学習機会や世代間交流の場を提供するとともに、活力ある地域づくりを目指す拠点として、各種事業を展開していきます。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度時期・回数	対象・人数	予算額	
1	方針2(1) ①市民への学習機会の提供と情報の発信	ホームページやSNS等による情報発信	生涯学習情報及び公民館事業について、ホームページ等を活用した情報の発信を行います。	随時	—	—	
2	方針2(2) ①家庭教育への支援	家庭教育総合推進事業	お子さんと一緒に！健康な心と体づくり講座(幼児家庭教育学級)	6月～12月 5回	2歳から就学前の幼児と保護者20組	32	
3		小学校家庭教育学級	小学生を持つ保護者を対象に、少年期の成長に必要な家庭教育について学習するとともに、交流を図るための事業を実施します。	7月～2月 5回	平岡小学校児童の保護者(各回ごと募集)	40	
4	方針2(2) ③青少年健全育成活動の充実	青少年教育推進事業	ひらおかこども教室	自然科学等様々な分野において子どもたちが興味や関心が持てるよう、多様な体験の場を提供し、楽しく学習します。	6月～1月 5回	平岡小学校児童20人(各回募集)	14
5			ジュニアチャレンジ講座	中学生を対象に、主体的な学びとして体験活動を行い、探求心や実践スキル習得等の自己成長を促すとともに、交流等を通して地域を理解し、郷土への愛着を深めます。	8月 2回	平川中学校生徒20人	10
6		青少年相談員支部活動	青少年の健全育成を推進するため、青少年相談員の支部活動を支援します。	通年	平岡支部青少年相談員10人	—	
7		地区住民会議(名幸ヶ丘の会)活動	家庭、学校、地域社会が一体となり、地域に密着した実践活動を通して青少年の健全育成を図るための活動を支援します。	通年	平岡地区各種団体14団体等	—	
8		ひらおかハッピータイム(世代間交流事業)	世代間の交流を図るための事業を実施します。	1回	平岡地区の子どもから大人まで25人	10	
9	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	国際理解セミナー	国際化が進むなかで、世界各国の現状を学習し、国際理解を深めます。	9月～1月 5回	成人一般30人	61
10			わくわく女性倶楽部	女性が生き生きと輝いた生活を送るため、幅広い分野について学習するとともに、講座生相互の交流の場とします。	5月～2月 6回	成人女性40人	42
11			みんなでつくる地域の避難所講座	災害時において「地域は自分たちで守る」という、自助・共助の意識を高めるとともに、より安心・安全な避難生活を送ることができるよう、「みんなでつくる地域の避難所」をテーマに、より実践的な学習をします。	未定 2回	平岡地区住民(各回20人)	39
12			高齢者いきがい促進事業	ひらおかシニアセミナー(高齢者教室)	健康で潤いのある生活を目指し、運動や健康講座を通じて仲間づくりをします。	5月～1月 6回	60歳以上40人

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和8年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
13	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	各種行事 推進事業	平岡公民館文化・スポーツまつり	地域住民が文化、スポーツに触れ親しみ、豊かな情操と創造力を養う場とするとともに、公民館利用者の学習成果を発表する場とします。また、各種催し物を通じて、地域住民相互の交流の機会を提供します。	10月31日 11月1日 (2日間) ※グラウンドゴルフ大会は調整中	市民	203
14	方針2(3) ②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体等の作品発表の場とするとともに、地域住民が芸術や文化作品に触れる機会を提供します。	通年	各種団体 平岡小学校 平川中学校	—
15	方針2(3) ③学びを支える地域人材の育成と活動の促進	利用者懇談会	定期利用団体等を対象に、公民館の事業運営についての理解を深めるとともに、サークルの活性化と育成に努めます。	3月 (全1回)	定期利用 団体等	—	
16	二十歳を祝う会(平川公民館と共催)	社会教育推進員活動	社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともに行います。	通年	社会教育 推進員 10人	9	
17			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月10日	H18.4.2～ H19.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	市民会館 で計上	
						計	496

議題（２）令和８年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について

回	日時	内容	会場
1	5月20日 (水) 15時～	① 令和7年度市民会館・公民館事業の実施結果について ② 令和8年度市民会館・公民館の事業計画について ③ 令和8年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について 他	根形交流センター 2階視聴覚室
2	7月13日 (月) 15時～	① 令和8年度市民会館・公民館事業の実施状況について 他 ※会議開催前に、委嘱状交付が行われます。	昭和交流センター 3階中ホール
3	10月14日 (水) 15時～	① 令和8年度市民会館・公民館まつりに ついて ② 令和8年度市民会館・公民館事業の実 施状況について 他	平岡交流センター 2階視聴覚室
4	12月21日 (月) 15時～	① 令和8年度市民会館・公民館まつりの 実施結果について ② 令和9年袖ヶ浦市二十歳を祝う会の 取組状況について ③ 令和8年度市民会館・公民館事業の実 施状況について 他	平川交流センター 2階視聴覚室
5	2月16日 (火) 15時～	① 令和9年袖ヶ浦市二十歳を祝う会の 実施結果について ② 令和8年度市民会館・公民館事業の成 果と課題について ③ 令和9年度市民会館・公民館経営方針 及び重点施策（案）について 他	長浦交流センター 2階研修室

※各種行事等に係る実行委員及び委員の選出については、適宜、審議等を  
いただく予定です。

【その他行事（主なもの）】

- ◇ 7月 4日（土） 袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会（市民会館）
- ◇ 7月29日（水） 君公連・君公運審連合同研修会  
（君津市周西公民館）
- ◇ 10月31日（土） 市民会館まつり・公民館まつり（根形・平岡）  
～11月1日（日）
- ◇ 11月14日（土） 公民館まつり（平川・長浦）  
～15日（日）
- ◇ 1月10日（日） 袖ヶ浦市二十歳を祝う会
- ◇ 2月13日（土） 袖ヶ浦市生涯学習推進大会（市民会館）

### 議題（３）その他

#### ア 令和８年度青少年育成袖ヶ浦市民会議理事の推薦について

令和８年３月２日付け青育市第４１号（３８～４０ページ参照）にて、青少年育成袖ヶ浦市民会議会長より別紙のとおり当該会議の理事について継続確認の依頼がありました。

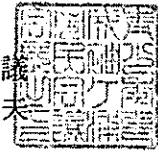
確認に対する回答期限が５月７日であったため、委員長と相談の上、現理事が継続する旨回答しました。



青育市第41号  
令和8年3月2日

公民館運営審議会  
委員長 篠原 和行 様

青少年育成袖ヶ浦市民会議  
会長 田中 雪夫



令和8年度青少年育成袖ヶ浦市民会議理事の推薦について  
(依頼)

早春の候、貴職におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、青少年の健全育成にご協力を賜り深く感謝申し上げます。  
さて、貴団体に加入していただいている青少年育成袖ヶ浦市民会議ですが、「青少年育成袖ヶ浦市民会議規約」の第8条第2項により、理事を各関係団体から推薦された方に務めていただくこととなっております。

つきましては、令和8年度における貴団体からの推薦者について、別紙「理事推薦書」により推薦していただきますよう、お願い申し上げます。

なお、任期は、令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間です。

記

1. 提出書類 理事推薦書 1枚
2. 提出期限 令和8年5月7日(木)  
※提出期限以降に団体の長が確定する場合は、担当までご一報ください。  
確定後に推薦書の提出をお願いいたします。
3. 第1回青少年育成袖ヶ浦市民会議理事会日程  
以下の日程で開催を予定しております。  
推薦いただいた理事には別途通知いたします。  
予めご承知おきください。

日時：令和8年5月18日(月)午後3時30分から  
会場：袖ヶ浦市役所北庁舎3階 会議室3-1

【提出先・連絡先】

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 白石  
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場 1-1  
電話：0438-62-3743 (直通)  
E-mail：[sode30@city.sodegaura.chiba.jp](mailto:sode30@city.sodegaura.chiba.jp)

## 青少年育成袖ヶ浦市民会議規約

(名称)

第1条 この会議は青少年育成袖ヶ浦市民会議と称する。

(事務局)

第2条 この会議の事務局は袖ヶ浦市生涯学習課内に置く。

(目的)

第3条 この会議は青少年問題のもつ重要性にかんがみ広く住民の総意を結集し行政の施策に呼応して、次代をになう青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 この会議は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 青少年育成市民運動の総合企画
- (2) 青少年育成のための市民意識高揚の活動
- (3) 青少年の健全育成、非行防止のための活動
- (4) 青少年健全育成関係団体との連携、協力
- (5) その他、この会議の目的を達成するために必要な事業

(組織)

第5条 この会議は、会議の趣旨に賛同する個人及び団体をもって構成する。

第6条 この会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 30名以内
- (4) 会計 1名
- (5) 監事 2名

(役員の仕事)

第7条 会長は、この会の業務を総括し、この会議を代表する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序にしたがってその職務を代行する。
- 3 理事会は、本会議の企画ならびに運営にあたる。
- 4 会計は、この会議の経理を担当する。
- 5 監事は、会計及び業務執行の状況を監査し、その結果を理事会に報告する。

(役員を選任)

第8条 会長、副会長は理事会において互選し決定する。

- 2 理事は各関係団体から推薦された者をもって充てる。
- 3 監事、会計は理事会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠による役員の仕事は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員は任期が満了した場合後においても後任者が就任するまでのその職務を行う。

(顧問)

第10条 この会議に顧問を置くことができる。

2 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、会長の諮問に応じる。

(地区住民会議)

第11条 本事業を実施遂行するために市民会館並びに各公民館毎に地区住民会議を置く。

2 地区住民会議について必要な規約は、各地区毎に定める。

(会議)

第12条 会議は理事会とする。

2 理事会は、この会議の通常の業務を掌理し、運営にあたる。

3 理事会は、毎年1回以上会長が招集し、会長が議長を務める。

4 理事会は、次の事項を議決する。

(1) 事業計画及び予算

(2) 事業報告及び決算

(3) その他理事会において必要と認めた事項

(表決)

第13条 理事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(経費)

第14条 この会議の経費は、会費、賛助会費、補助金及び寄付金等をもってあてる。

(会計年度)

第15条 この会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(賛助会員)

第16条 この会議の目的に賛同し、特別な援助をする法人等は、賛助会員となることができる。

(解散)

第17条 この会議は、出席者の4分の3以上の同意を得て解散することができる。

(補則)

第18条 この規約の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て会長が定める。

附 則

この規約は、昭和53年12月8日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年6月8日から施行する。

附 則

この規約は、平成12年6月15日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

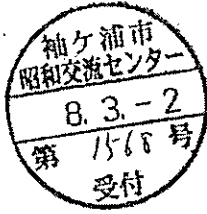
この規約は、平成14年6月28日から施行する。

附 則

この規約は、平成29年2月10日から施行する。

イ 令和8年度青少年健全育成推進大会実行委員の推薦について

令和8年3月2日付け青育市第42号（42～44ページ参照）にて、青少年育成袖ヶ浦市民会議会長より別紙のとおり当該大会実行委員の推薦依頼がありました。推薦書の提出期限が4月9日であったため、委員長と相談の上、推薦しました。



青育市第42号  
令和8年3月2日

公民館運営審議会  
委員長 篠原 和行 様

青少年育成袖ヶ浦市民会議  
会長 田中 雪夫



令和8年度袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実行委員の推薦に  
ついて（依頼）

早春の候、貴職におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、青少年の健全育成にご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、令和8年7月4日（土）青少年健全育成推進大会については実行委員  
制で運営することとなりました。

つきましては、貴団体からの推薦者について、別紙「実行委員推薦書」により  
推薦していただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 提出書類 実行委員推薦書 1枚
2. 提出期限 令和8年4月9日（木）
3. 第1回袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実行委員会議日程  
以下の日程で開催を予定しております。  
推薦いただいた実行委員には別途通知いたします。  
予めご承知おきください。

日時：令和8年4月23日（木）午後7時から

会場：袖ヶ浦市役所 南庁舎2階そでふれば

【提出先・連絡先】

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 白石  
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場 1-1  
電話：0438-62-3743（直通）  
E-mail：[sode30@city.sodegaura.chiba.jp](mailto:sode30@city.sodegaura.chiba.jp)

## 実行委員の推薦について

### I 実行委員の構成

市民会議構成団体(地区住民会議を除く)から実行委員を選出して大会を運営する。  
(令和7年度第2回青少年育成袖ヶ浦市民会議理事会にて決定)

### II 令和8年度袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実施要項(案)

#### 1. 趣旨

次代の担い手である青少年の健全育成が、真にその成果を発揮するためには、地域における住民の日常的な育成活動が活発に行われることが必要である。このため、青少年関係機関、団体等の関係者をはじめ一般市民の参加を求めて、青少年健全育成推進大会を開催し、市民各層の青少年育成運動に対する理解と自覚と積極的参加を促進しようとするものである。

2. 主催 青少年育成袖ヶ浦市民会議／青少年健全育成推進大会実行委員会

3. 主管 袖ヶ浦市教育委員会

4. 日時 令和8年7月4日(土) 13時から

5. 会場 市民会館大ホール

6. 参加対象 (1) 関係委員、団体  
(2) その他、本大会の趣旨に賛同する市民

#### 7. 大会次第

受付	12:30~13:00
(1) 開会式	13:00~13:30
①開式の言葉	
②主催者挨拶	
③袖ヶ浦市青少年育成者感謝状贈呈	
④来賓祝辞	
⑤閉式の言葉	
(2) 市民議会員募集	13:30~13:35
(3) 大会宣言 -袖ヶ浦市子育ての提言-	13:35~13:45
(4) 実践発表	13:45~14:20
①未定	(13:45~14:00)
場面転換	(14:00~14:05)
②未定	(14:05~14:20)
(5) 休憩・市民三学大学講座入場	14:20~14:30
(6) 記念講演(第1回市民三学大学講座)	14:30~16:00
講師 < 未定 >	
(7) 大会閉会の言葉	16:00

## 参考資料

### Ⅲ 実行委員会について

計：17名（青少年育成袖ヶ浦市民会議の構成団体から各1名。地区住民会議は除く）  
役員について・・・実行委員長(1名)、副実行委員長(2名)予定

### Ⅳ 係別役割分担（案）

受付係・・・参加者の受付  
会員募集係・・・一口100円の会員募集  
来賓係・・・来賓の受付、案内  
受賞者係・・・受賞者の受付、案内、表彰手順説明  
発表者係・・・実践発表者受付、案内、(実践発表舞台準備及び片付け)  
湯茶係・・・来賓、講師の湯茶準備及び片付け  
会場係・・・会場整理（実践発表舞台準備及び片付け）  
進行係・・・当日の司会進行  
音響照明係・・・マイク音量チェック、照明セット  
駐車場係・・・駐車場案内、整理

### Ⅴ 準備日程

4月 9日（木） 実行委員推薦報告期限  
4月23日（木） 第1回実行委員会議  
(19:00～ 市役所 南庁舎2階そでふれば)  
予定議題内容  
(1) 役員選出  
(2) 実施要項（案）及び予算（案）について  
(3) 啓発物品について  
(4) 参加依頼計画（来賓含む）について  
(5) 掲示物及び冊子の作成について  
(6) 役割分担について  
6月 5日（金） 第2回実行委員会議（19:00～ 市民会館3階中ホール）  
予定議題内容  
(1) 当日の詳細について係ごとに確認

令和8年度 市民会館・公民館等 職員録

教育委員会			
職名	氏名	備	考
教育長	鍋田道雄		
教育部長	高浦正充		
市民会館（昭和交流センター） 坂戸市場1566 62-3135			
職名	氏名	備	考
館長	齊藤秀夫	交流センター所長兼務	
副主幹	木村卓郎		
主査	富士井雄太		
主事	亀井翔太		
平川公民館（平川交流センター） 横田115-1 75-2195			
職名	氏名	備	考
館長	吉末孝司	平川図書館長・交流センター所長兼務	
顧問	本橋俊哉		
主査	林涼子		
主事	南端彩桜里		
主事	佐伯廉		
長浦公民館（長浦交流センター） 蔵波513-1 62-5713			
職名	氏名	備	考
館長	須田紀子	交流センター所長兼務	
顧問	地引等		
主査	川上健次郎	都市建設部下水道課より	
副主査	濱崎雅仁		
副主査	進藤芳隆		
根形公民館（根形交流センター） 下新田1277 62-6161			
職名	氏名	備	考
館長	大野正彦	交流センター所長兼務	
顧問	鹿島順		
副主幹	戸塚愛佳		
主事	小川翔大	総務部総務課より	
平岡公民館（平岡交流センター） 野里1563-1 75-6677			
職名	氏名	備	考
館長	加藤宏明	交流センター所長兼務、都市建設部都市整備課より	
顧問	庄司三喜夫		
主査	岡本ヤヨイ		
副主査	前田優太		
生涯学習課 坂戸市場1-1 社会教育班:62-3743、文化振興班:62-3744			
職名	氏名	班名	備考
課長	西原崇浩		教育部郷土博物館より
班長	君塚和枝	社会教育班	
主査	飯島奨		
主査	嘉茂尚人		
副主査	中條はるな		
主任主事	浅野優		
主事	多田美咲		福祉部障がい者支援課より
副課長	田中大介	文化振興班	班長兼務
副主幹	大河原務		
主任主事	依知川清楓		企画政策部市民協働推進課より
学芸員	助川諒		
学芸員	池田輝		

※館長と顧問以外の職員（生涯学習課は除く）は、公民館業務を行う交流センター（市民生活部）職員

いっしょに  
まちづくりしよう

中富地区  
まちづくり協議会

会員募集中

どなたでも参加できます



photo by ガウラフオトクラブ

会員登録はこちらから



# 中富地区まちづくり協議会の概要

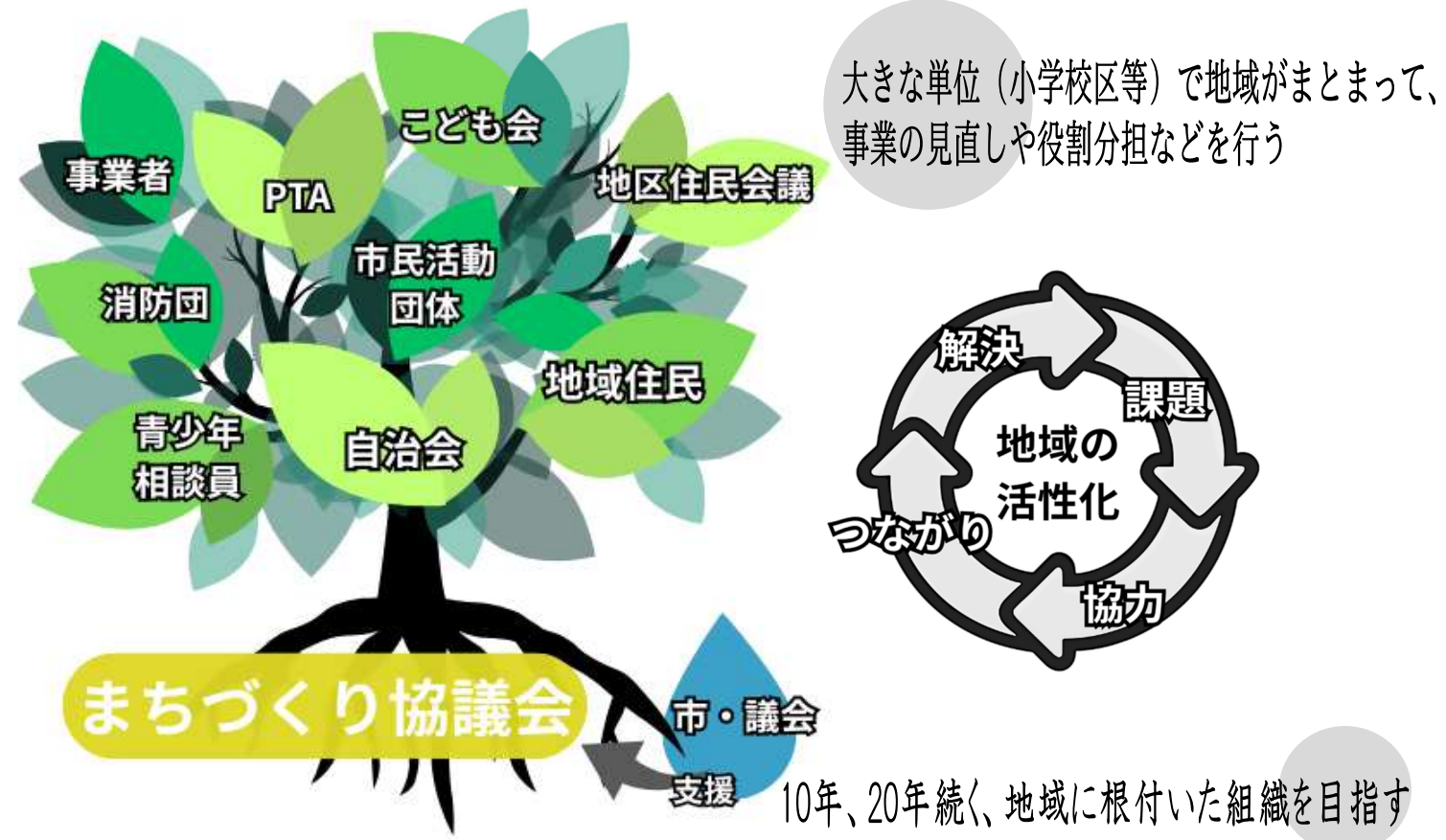
## 1 まちづくり協議会の組織化と背景

人口減少、過疎化の加速  
担い手の減少による  
個々の地域活動の縮小  
このままでは...

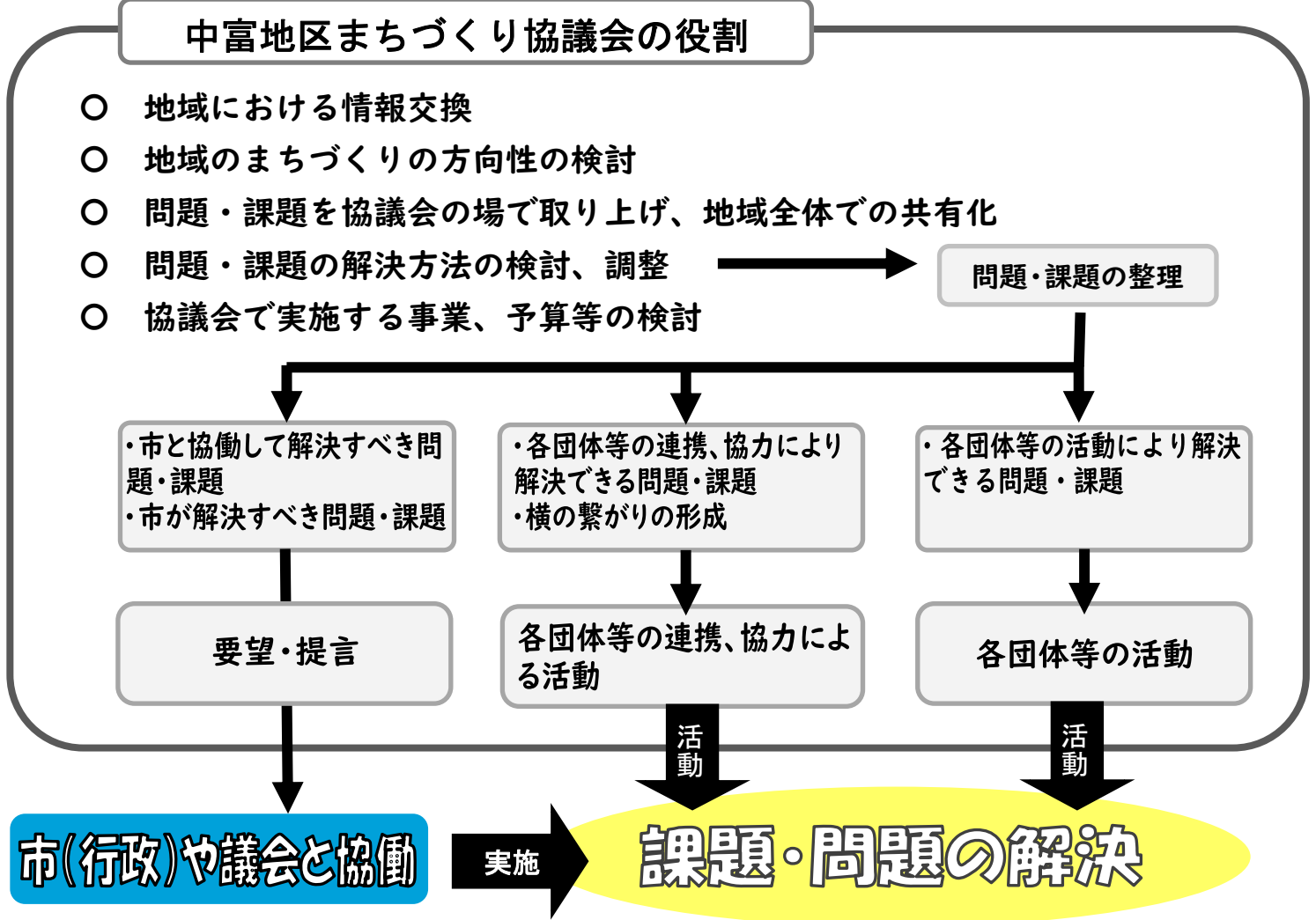
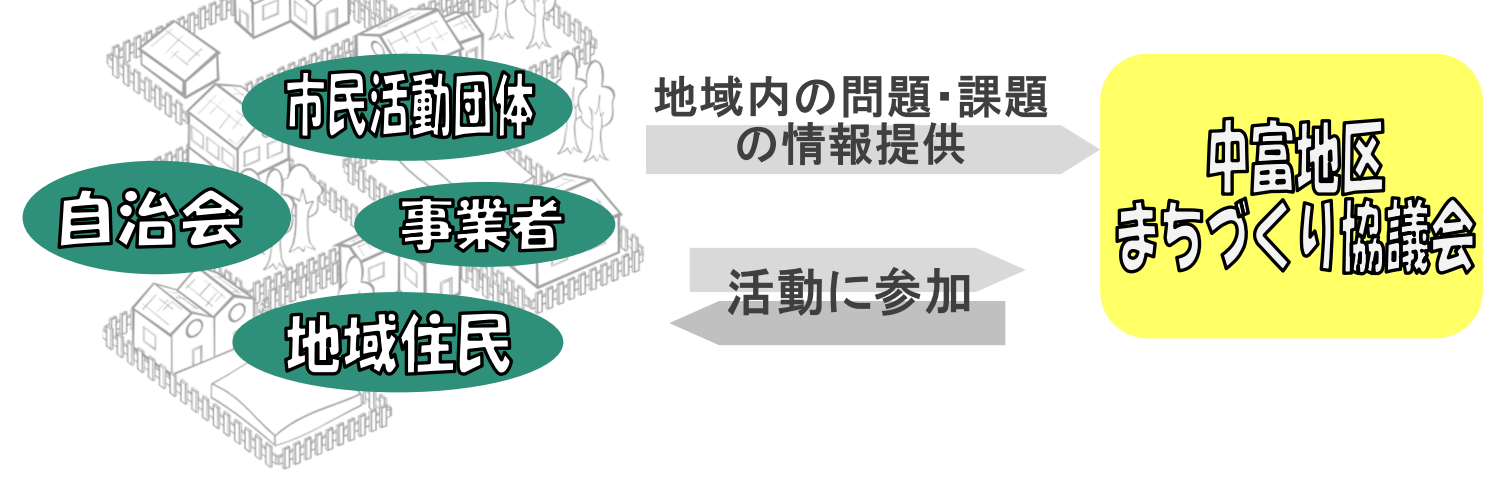
この地域で生まれ育った  
子供たちが、いつまでも  
住み続けたいと思える  
「まちづくり」をしたい



世代や地域を越えて誰もが参加できる活動を通じ、  
絆を深め一体となって特色を活かしたまちづくりを  
進めることにより、地域の活性化を図り、安心して  
暮らせる、いつまでも住み続けたいまちづくりを目指す



## 2 中富地区まちづくり協議会のイメージ



### 部会紹介

#### まちづくり検討部会

【役割】  
中富地区の課題を解決するために具体的にどのような方法があるか検討する。

#### 事業計画部会

【役割】  
事業やイベントの企画や運営を行う。

#### 青少年育成部会

【役割】  
地域の子どもたちを地域で育てることを目的とする活動を行う。

令和8年度第1回公民館運営審議会資料 正誤表

訂正箇所		正					誤				
5ページ イ 平川公民館 No.3 小学校家庭教育学級の 延べ参加人数		小学校家庭教育学級	中川小学校 児童の保護者 (各回募集)	4月～1月	5回	保護者99人	小学校家庭教育学級	中川小学校 児童の保護者 (各回募集)	4月～1月	5回	99人

訂正箇所		正		誤	
1ページ ア 市民会館 25ページ (ア) 令和8年度市民会館 事業計画 ※共通事項			乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(平川公民館と合同)		乳幼児家庭教育学級(うたたねハッピーくらぶ)(市民会館と合同)

訂正箇所		正				誤			
32ページ (イ) 令和8年度根形公民館 事業計画 No.12 事業名		12	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進 災害に備える講座	地域の課題について学ぶ機会を提供するとともに、課題解決に向けた人材発掘・育成に努めます。 ①防災講演会(根形小学校) 避難訓練とタイアップし、若い世代への地域防災教育を行います。 ②避難所に係る講演及び避難所体験(根形中学校) 地域で防災に取り組む人材育成を目指します。 ③総合防災訓練	12	方針2(3) ①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進 地域人材育成講座	地域の課題について学ぶ機会を提供するとともに、課題解決に向けた人材発掘・育成に努めます。 ①防災講演会(根形小学校) 避難訓練とタイアップし、若い世代への地域防災教育を行います。 ②避難所に係る講演及び避難所体験(根形中学校) 地域で防災に取り組む人材育成を目指します。 ③総合防災訓練		

訂正箇所		正		誤	
24ページ イ 令和8年度市民会館・ 公民館主催事業 下線の追加 ※訂正部分を別途配付		又様	利用者懇談会 社会教育推進員活動	又様	利用者懇談会

イ 令和8年度市民会館・公民館主催事業

令和8年度市民会館・公民館主催事業

基本目標	未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり
生涯学習の目標	人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します

施策の方向性	施策	事業	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
(1)一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実	①市民への学習機会の提供と情報の発信		ホームページやSNS等による情報発信				
(2)地域の教育力の向上	①家庭教育への支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級 (平川公民館と合同)  小中学校家庭教育学級	乳幼児家庭教育学級 (市民会館と合同)  小学校家庭教育学級  中学校家庭教育学級	子育てパパ応援講座  小中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級  小中学校家庭教育学級	お子さんと一緒に！ 健康な心と体づくり講座  小学校家庭教育学級
	②青少年健全育成活動の充実	青少年教育推進事業	こどもチャレンジ教室  世代間交流	こどもクラブ  書き初め教室	わんぱく教室	花まる絵画教室  こども絵画教室  ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	ひらおかこども教室  ジュニアチャレンジ講座
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー  大人のチャレンジ講座  単発講座	園芸講座  トライアル講座  初心者・シニア向けスマートフォン教室  災害対策基礎講座	まるごと体験セミナー  ながうら遊学塾  お正月飾りづくり講習会	成人絵画教室  地域再発見講座  災害に備える講座	わくわく女性倶楽部  国際理解セミナー  ひらおかハッピータイム  みんなで作る地域の避難所講座
		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	平川生活いきいき講座  ご近所高齢者講座	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー
	②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	市民会館まつり  市民音楽フェスティバル  芸能文化まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり  ねがたファミリーコンサート  サークル作品展	文化・スポーツまつり
			ロビー展示				
③学びを支える地域人材の育成と活動の促進			利用者懇談会  社会教育推進員活動				